

## 令和2年度 第1回保健福祉推進審議会 (要旨)

日 時：令和2年11月30日(月) 18:30～

場 所：室蘭市役所3階 議会第1会議室

出席委員：野尻会長、山中副会長、上田委員、政田委員、宮澤委員、沼田委員、澤田委員、橋本委員(計8名)

欠席委員：三浦委員、荒川委員、福島委員、藤田委員、岩浅委員、三上委員(計6名)

事務局：塩越保健福祉部長、中村保健福祉部次長、中澤高齢福祉課長、山路子育て支援課長、山本障害福祉課長、瀧浪高齢福祉課主幹、花島高齢福祉課主幹、今野高齢福祉課主幹、山口健康推進課主幹、宮下生活支援課主幹、立花高齢福祉課係長、島田高齢福祉課主査

傍聴人：0人

### 1 会議次第

#### 【審議事項】

- (1) 第8期室蘭市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)について
- (2) 第2期室蘭市地域福祉計画(素案)について
- (3) 第3期室蘭市障がい者支援計画(素案)について

#### 【その他】

### 2 議事の概要記録

#### 〈開会〉

委員14人中8名の出席がございますので、室蘭市保健福祉推進審議会条例第6条第2項の規定により、半数以上の出席があることから、会議が成立していることを確認。推薦団体の役員改選により、初めて審議会に参加される宮澤委員を紹介。塩越保健福祉部長より挨拶。

#### 【審議事項】

第8期室蘭市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)について

#### 事務局説明

資料「第8期室蘭市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)について」に基づき、計画(素案)の概要を説明

会 長：ただいまの事務局説明についてご質問等ございませんか。

委員：高齢者同士が日頃から顔を見合わせながらお付き合いしていく、その体制づくりのためにもやはり老人クラブという組織を活性化していった方がいいのかなと思います。また、共生社会を作り上げていくのであれば、町内会とか民生委員ときちんと連携を考えていくのであれば、もう少し地域包括支援センターの地区の見方を見直してもらった方が良いでしょう。その方がより身近な連携が図れるのかなと思います。行政が中心になるのではなくてもう少し地域住民に色々お力をいただいた方がこの計画を作りやすいのかな、行政側にも限度があると思うので、是非、地域力を活かす計画があってもいいのかなという感じとして言わせていただきました。

会長 どうもありがとうございました。今の委員のおっしゃったことも含めて、今後考えていただければと思います。その他いかがでしょうか。

委員：室蘭の介護人材の現状認識、これをどう捉えているかということ、もう1つは、先日も子育ての関係で保育士の研修含めて人材確保ということでやられていますけども、同じように潜在介護士の掘り起こしということ、これもきちんと明記いただくものなのかなと思っていますし、まずは現状認識をどう捉えているのかなということをちょっと聞きたい。

事務局：深刻な現場の声を聞いたところ、やはり1番は人間関係が大きいという声がありまして、人間関係構築のための何かできないだろうか、コミュニケーション能力を高める何かできないだろうかということで、そういった部分の研修会を事業者さんが中心に担うものと考え、バックアップするという感じで考えています。

委員：地域全体のネットワークで解決する仕組みが必要だとこう書かれておりますけども、何かこれから取り組むべき方向性とかイメージ、どういうことを考えておられるのかここで知っておきたいなと思っております。

事務局：地域福祉計画を作る上でアンケートを実施したのですが、市民の方、皆さん町会の方を非常に頼りにしている部分があると、ただ逆に自分が関わるかという今は関われない、関わりたくない、ただ困った時には頼りにしたいというのは正直な気持ちらしいです。実際、積極的に取り組みたい、どういう風に取り組んで関わっていったらいいのかわからないという声もたくさんありましたので、意外と市民の方は無関心ではないんだなということがわかりました。当然、皆さん支えあって、できることをやって、できないことは支えてもらってという共生社会というのが一番目指すところにあります。

会長 よろしいでしょうか。

委員：高齢者の計画の方もどれくらい、何%達成できているかとかということをも具体的に可視化していかないと、ご提示されているこの介護労働とか非常に測りづらいということもあるかもしれませんが、それにどれくらい参加して、どれくらいその結果効果を上げて、どれくらいどういうふうに改善したか、介護保険料の支出の見込みはこれくらいだったけど、これくらい抑制できるということを、誰が見てもわかるように計画の中で早急に進めるべきではないと思っています。

事務局：当然、数値化できると、市民の方もわかりやすいというのはその通りだと思います。デジタルが難しい部分というのが現実でありまして、今後、指標でもありますし、計画策定の上での評価だと思いますので、色々な部分で研究はしていきたいと思っています。

委員：先行している全国の自治体とかそういったことってというのはもうお調べになられたんでしょうか。

事務局：他市については調べておりません。

委員：例えば、予防のところにも多少お金をかけないと予防は進まないと思いますよね。そういったところの支出が増大化したとしても、3年経ってみるとちょっと後退していくんじゃないかということやある程度やってみないとわからないということもあるんですけど、具体的に数値を入れたもので重要なことをやっていただきたいなということでは是非ご提案です。

事務局：例えば具体的にどういう数値をこう上げたらっていうことはありますか。

委員：予防に対していろんなことを実施する民間事業者、介護事業者かもしれませんが、そういったところに対する具体的支援とか、そういうものを入れていくこと。

事務局：第8期計画を作るにあたって、国から示されているポイントをおさえながら、この3年間で振り返ってどうなったのか、そしてこれから何を望んでいるのか、そういった声をアンケートだとかヒアリングだとか、そういったことを通して、今回の8期に具体的に載せていけるというふうに考えております。

委員：基本的な考えを聞かせていただきました。介護人材がなぜ離職するのかというところの大きな原因の一つに、人がいないので非常に業務がきつい、だから辞めていくというこの悪循環が正直あるんです。だから人間関係が悪くなるというのも人がいなくて業務量

が増えるから、色々なそういったところから生まれてくるマイナスの力へ入っていく、そういったところを対処療法的に治療していくのではなく、根本的なところで、何かこう政策の中でそういったものをカバーしていくことってというのが、必要じゃないかなと思っております。介護人材だけに限ったことではなくて、保健福祉自体ということで、看護師なども含めて何かそういうようなことを、そろそろする時期ではないかなということで、ご検討いただきたいと思います。

事務局：いろいろお話もありましたけれども、我々も保健福祉部の中で、子どもから、高齢者、障害者、こういったものにかかる予算が市役所の中でも増えている形でございます。そんな中で限られた予算を適切にそういう形で我々も主導していかなければいけないということもありますので、そういったことも含めまして、しっかりしていきたいというふうに考えております。

**会 長** ありがとうございます。その他はいかがでしょうか。

委 員：1つ確認をしたいんですけど、概要版2なんですけど、この計画期3か年という、これは国からの指示で3か年と決められているのでしょうか。

事務局：はい、これは全国一律法律等で決まっている期間でございます。

委 員：2025年という1つの大きな課題に向けた計画も同一進行で、3年計画から超えるかもしれませんが、それをしっかりやっていかなければならないのかなと思ってます。多分来年度以降も含めて財政が非常に厳しくなることが想定されますけれども、そういうことを考えて室蘭市でどう進めていくかという具体的なものを見せないと、3年計画ばかりでなくて、そういうことを踏まえた計画の在り方というのを示していかないと、思っていますがいかがでしょうか。

事務局：今回の8期計画、これから出てくる福祉計画・障害者計画、これらにつきまして、今回から、持続可能な考え方を我々も取り入れてございます。したがって、今言ったように3か年だけの計画ではなく、やはりこれから続くであろう、計画するであろうということを考えながら、今言った考え方をもとに、それからまずは自分のことは自分でという「自助」の考え方、それから地域で支え合う「共助」の考え方、最後に市役所なり道なり国がきちんと計画的に最後はしっかり汲み取るよという「公助」と、そうした3つの考え方をしっかり取り入れながら、今言ったような問題に対して真正面から向き合っていこうというふうに考えてございます。

委員：もう少し民間力を頼ったら。行政だけで動かすにも無理な時代に入ってきています。地域力の方を当てにした計画も必要だと思っています。

**会長** はい、ありがとうございました。他にありませんでしょうか。

委員：室蘭市には福祉基金というような基金があって、それが建物にも使えるようになったところがあったと思うんですけども、今いくらぐらい残っているのでしょうか。

事務局：すみません、今細かい数字は持ってきていません。

委員：福祉人材を確保するとかということで政策として市内一律、色々な事業者が、本当に確保できない時期が来ると考えております。外国人人材についてもですね、特定の様々な施設法人様の方の奨学金をいただいて勉強してますけれども、やはり個人的で全体に効いてくるという人材ではないといえればそういうことでございますので、そういった意味で資金のご活用というものを真剣にご検討いただきたいと思っております。

**会長** ありがとうございました。その他ありませんでしょうか。ないようですから、今委員の方々からご意見がありました。今後のご意見をもとに、まずは素案についてご審議いただきましたので、素案については皆さんよろしいですか。

委員：異議無し

**会長** ありがとうございました。それではこの審議事項につきましては当審議会として承認いたしました。この素案をもとに、先程のご意見を含めて、検討の方、パブリックコメントについてよろしくお願ひします。それでは次に、審議事項（２）第２期室蘭市地域福祉計画（素案）について、事務局の方よりご説明よろしくお願ひいたします。

#### **第２期室蘭市地域福祉計画（素案）について**

##### **事務局説明**

資料「第２期室蘭市地域福祉計画（素案）（素案）について」に基づき、計画（素案）の概要を説明

**会長** ただいまの事務局説明についてご質問等ございませんか。

委員：なし

**会 長** どうもありがとうございました。ただ今の事務局案についてご意見はいかがでしょうか。ありませんでしょうか。それでは、審議事項（２）第２期室蘭市地域福祉計画（素案）については、ご承認いただいたということによろしいでしょうか。

委 員：意義なし

**会 長** ありがとうございました。それではこの審議事項につきましては当審議会として承認いたしました。

**会 長** 次に、審議事項（３）第３期室蘭市障がい者支援計画（素案）について事務局の方からご説明の方よろしく願います。

#### **事務局説明**

資料「第３期室蘭市障がい者支援計画（素案）について」に基づき、計画（素案）の概要を説明

**会 長** 「第３期室蘭市障がい者支援計画（素案）について」、何かご質問・ご意見等がありますでしょうか。

委 員：知的障害者の就労、グループホームの整備について、室蘭市でこれからどうしていくのか、そのへんについても少し具体的なお話を聞かせていただければと思っています。

事務局：青山市政では、障害者の就労支援対策強化というのを掲げてございます。来年度ではございませんが、令和４年度に向けて、地域の自立支援協議会、こちらの中で専門部会として協議会を設立してございます。先の１０月開催いたしました部会の方でも、来年の１月以降、令和４年度予算に向けて就労支援対策強化を各関係機関ともお話をさせていただいているところでございます。室蘭市としても平成２３年度以降、グループホームの整備を着実に進めているところでございます。現時点での計画上の中で、１００棟の市内定員数を確保するところまで進んでございます。今後の状況を加味しながら、整備については考えているところでございます。

委 員：市の財政難もあり、色々な施設が指定管理者制度になると、知的障害者の働き場所がなくなる。行政の業務の中で是非そういう方が雇用できる環境整備をしていかないとますます減っていく。特に今年コロナになりますと、ほとんどが施設で待機しているような状況になりますし、施設側に言わせると平均的な仕事が欲しい。無機質ではなくて平

準化した仕事がいただけると雇用の足場は確保できるかなとそういうふうに頭を痛めてます。

事務局：まず、福祉的就労としてなかなか継続していただけるお仕事が厳しいというご意見については、今回のアンケートの結果の中でも多くの事業者様また障害を抱えて働かれている方々からも多数の声が寄せられてございます。現時点でも事業所が受ける受託業務の件数自体は年々増加傾向にはございますが、まだまだ各仕事量、またそれが工賃として反映するという部分については足りない部分もあろうかと思えます。少しでも働ける障害の方には工賃として収入としてまかなえる部分が台頭できるように、今後行政としても積極的に仕事の方の斡旋等を進めていきたいというふうに考えてございます。

委員：結構厳しい条件の中で就労出させていただいて、市のお金って入ってきたら国の方のお金は減らされるってそういう部分はないでしょうか。

委員：いや、それはよくわかりませんが、月1万や8千円くらいでどうやって暮らしていけるんですか。あくまでもそこは一般就労につながるような方法を持っていく。障害者の適性がある企業でも、それぞれに合ったお仕事っていうのはなかなか難しいのだけれども。親が元気なうちに稼いでおいて親が亡くなったら下りる保険制度があるが、障害者は自分で調べるってなかなか難しいので、どんどん周知することをしていただければありがたいなと思っています。

**会長** ありがとうございます。

委員：後見業務ってやっているが、知的障害者の積立を当てにする身内もいるんで非常に苦慮しています。そういう方々を守るため、全ての親・兄弟・身内がいい人ばかりじゃないということも是非覚えていただきたい。

**会長** はい、ありがとうございます。それでは、他の委員からご意見はありますでしょうか。

委員：計画の位置づけというのが、3つの計画とも表現が違うというのに気がつきました。個別計画とはわかっていると思うんですけども、一般市民というのはなかなか計画がどんな構成をしていて、どういう位置づけにあるのかというのがわからないと思うんですね。一目見てわかるような表現というんですか、それを考えていただければありがたいなと。概要版にも市民に正確な位置づけというものが初歩的にわかるような表現でやった方がわかりやすいのかなと思いました。

会 長 他によろしいですか。

委 員：今回新型コロナの関係で職員の皆様マスクしてたんですけど、利用者さん、口話  
が読み取れないとして大変困っていたんです。是非そういう情報があったら流すようにお  
願いをしたいと思っております。

会 長 それでは、第3期の室蘭市障がい者支援計画（素案）については、ご承認いただ  
いたということで、よろしいでしょうか。

委 員：異議無し

会 長 はい、どうもありがとうございました。それでは、当審議会として承認をいたし  
ました。その他、委員の方々から、何かございますでしょうか。

会 長 それでは、無い様ですので、議事の方をお返ししたいと思います。よろしくお願  
いします。

〈閉 会〉